



実現に向けた政策

米長はるのぶ

2018.12.27

まずは「やまなしランド」実現に向けて
代表するメイン政策を知って下さい。

女性政策日本一

●第3子出産で100万円を一時支給

お金の使い道は問いません。子どものため、家族のため自由に使って頂きます。

- ・第4子以降については増額を検討します。
- ・すでに出産された人にも適用を検討します。

●女性政策パートナー制度の創設

セクハラ、マタハラ、エイジハラスメント、DVの根絶を目指し、子育ての悩み、生活の悩み、子育て後の再就職や心や体の悩みに対してケア、支援します。

ひとり親支援や介護、障がい児子育て等、真っ向から向き合える政策を立案します。

- ・県庁に課（室）を設け、思いつきから予算化への効率的過程の確保をします。
- ・2人以上の登録により、政策提案ができる制度（条例化）を作ります。
- ・スキルアップ研修制度で女性政策力を強化します。
- ・癒着の金権政治から卒業し、台所の声を大切にします。

●女性起業家サポート制度の創設

- ・スタートアップ支援を実施します。
- ・試作品補助制度を開始、発想試作センターを設置します。

女性重視の政策が拡大される山梨の将来ビジョンは限りなく大きく、かつ絶対的に必要という揺るぎない信念が根底にあります。女性パワーの向上で、県内人口増、県内景気と税収の拡大、雇用拡大、介護・福祉の充実観光力の強化等を実現します。女性政策の拡大は、すべてに関わってくる大きな根幹です。

「やまなしランド」実現に向けた2大テーマ

2020 東京五輪

●来県者数のべ10万人を必達として、 官民あげて、受入環境整備を行う。

- 期間中、果実の魅力をメインに「やまなしパビリオン」を東京に設置します。
山梨の良さを知り、来県したくなるVR等、山梨の魅力を発信します。
- 県主導で、魅力満載の「山梨ツアーパッケージ」を複数作成し、リピーターになっていただきます。また、パビリオンからの直通バスを官民の協力の元設置します。
- 同時に、パビリオンでは、2027年リニア時代の「やまなしランド」のビジョンを披露します。現在の魅力を体感、そして未来を予感し、再来県につなげます。

2027 リニア未来都市

●「やまなしランド」のメインエントランスとして捉え健康集積拠点とする。

- 健康をテーマにした複数大学の学部を誘致し、世界初のキャンパスビレッジを推進します。更に、健康関連の研究機関や企業を誘致。また新しい健康産業を創出すると共に、ランドマークタワーや国際展示場等世界に健康を発信するための施設を整えます。
- リニア駅と小井川駅をリンクさせると共に巨大バスターミナルを設置し、主要観光地、病院、ショッピングモール、学校を結ぶハブ拠点とします。
- 健康ツーリズムの主要拠点かつ県民の健康をサポートする拠点として、温泉施設、スポーツジムや様々なサロンやショップ、教室等の集積を同時に行い女性が活躍できる象徴的な場とします。

以上、2つの直近の課題は、山梨にとって最大かつ最後のチャンス！

3つの主要政策

- ①女性政策日本一を目指す！
- ②2020 東京五輪で 20 億円の経済効果！
- ③2027 リニア未来都市を健康の象徴に！

以上、知事選にとって最も重要な争点にならねければいけない。

「財源」は
「国」だけでなく「世界」から

どこよりも稼げる山梨県へ

海外へのトツプセールスは廃止！
在日大使館を通じて全世界との太いパイプを！

「財源」を超える大事なものがある！

VISION

わかりやすいビジョン

「やまなしランド」とは？

山梨を日本一輝く県にするための**ビジョン**です。

すなわち、私も含めた県民の**夢**であり、**目標**となるものです。

夢を語り、想いを共有してこそ、大きな相乗効果が生まれ、次世代に明るい未来を期待させる事ができると信じてます。山梨の将来像を視覚化することにより、共通の夢ができ、ワクワクすることはもちろん、行財政の透明化に繋がります。ビジョンを明確にする事こそ改革そのものです。政治、行政、民間、そして県民一人一人の英知を一つにすること。育ちや縁故だけではなく、誰にでもチャンスのある社会を作る為には、ビジョンを明確にし、共有する事が不可欠です。財源確保や人口増というのは、あくまで目標を達成するための手段でしかありません。だからこそ、県民の皆様と夢や想いを共有する事が重要です。

テーマは？

健康

テーマパークには、テーマが必要です。「健康」がテーマということは、まず住んでいる人、とりわけ女性が、健康でイキイキと暮らせる事が不可欠です。そして、健康ツーリズムの象徴的存在として、山梨に旅行にくると元気で健康的になり、定期的に来訪し、しまいには移住したくなる県になって行きます。「健康長寿日本一」「移住したい県ナンバー1」の山梨の価値は、実は既に首都圏の方々は理解しているのです。大切なことは、私たち県民がその価値に気づき、それをしっかりとしたブランドとする必要があるのです。日本が健康立国を目指す中、日本一になるということは、世界一になるという事。すなわち、世界から注目される県になるのです。世界から俯瞰的にみて、何が資源で、何が足りていないのか、県民一人一人が考える必要があります。日常の生活、次世代への教育、産業、まちづくり、観光、医療、福祉、防災とあらゆる分野において、健康というテーマのもと、必要なことを考え、そして、それぞれが有機的に結合、相乗効果を産む必要があります。

山梨県全体が、世界一健康的な時間を過ごせ、暮らせる
テーマパークになったらワクワクしませんか？

実現のための第一歩は？

政治家も含めた県民一人一人の意識改革

「思い切った政策」と仲間たち（県民）の意識共有

- ①「過去」から脱却し、一人一人が未来を想像する事。
- ②「傍観者、評論家」から脱却し、一人一人が自ら参画する事。

やまなしランドでは、県民一人一人が「キャスト」かつ「ゲスト」である。
もちろん記者の皆様もです。

世間では「フォアキャスト」と「バックキャスト」と対比します。過去や現在を起点に考え始めると、どうしても過去の成功体験や従来の考え方や手法が抜け切れず、従来の延長線で考えてしまいます。その結果、将来の選択肢は狭くなってしまい、他と有意差をつけるだけの大きな飛躍は望めません。将来の理想の姿を明確にし、今すべきことを考えるバックキャスト的な考えが必要であると考えます。また、社会づくりは、政治や行政がやるものだと任せっきりになっていませんか？そして、逆に政治に期待せず、諦めていませんか？県民一人一人が、まちづくりの当事者として、自ら考え、行動する必要があります。第一歩は、5分でも1分でも結構です、将来のやまなしランドを自ら想像してみてください。

さあ、目を閉じ「やまなしランド」を想像してみてください！

まずは、ゲストの目線で

想像したいと思います。

明日から、待ちに待った「やまなしランド」への旅行です。毎日満員列車にゆられ、遅くまで残業をしているご主人、そして、家事とパートで日々余裕がない奥様、ほぼ毎日塾通いの二人の子供さん。美味しい食べ物に美しい景観、温泉と夢は膨らみます。リニアに乗って20分、一瞬でやまなしに着きました。駅はテーマパークのメインエントランスです。まず最初にキャストに会うでしょう。笑顔でのおもてなし。自らのテーマパークに自信と誇りをもったキャストの対応に心が洗われることでしょうか。そして、駅隣接のランドマークタワーを上がります。展望台より、外に出てみます。第一声は、空気が澄んでいる。気持ちがいい。富士山、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父と四方を美しい山に囲まれた絶景、まるでスイスへ来たような安心感と開放感に感動することでしょうか。外に出るのが待ち遠しい。早く山梨の大地を踏みしめ、自分でこの自然を体験したい気持ちを抑えて、展望フルーツカフェで、ももやぶどうを使った山梨でしか食べられない食（スイーツやワイン）を楽しみます。ランドマーク内には、たくさんの人で賑わっています。企業の研究員、営業マン、学生、高齢者、地元の主婦にたくさんの外国人と。子供さんは疑問に覚えます。そうです。このランドマーク及びその周辺には、健康、医療関係の企業が集積、そして健康包括センターがあり、海外からも人間ドックを旅行工程に入れた健康ツーリズムが盛んです。そして、国内外複数の大学の健康、医療関係の学科が集積し、キャンパスをシェアするキャンパスビレッジがあります。また、マッサージやエステ、ヨガといった健康に関する最先端の教室が集積しています。まさに健康機関集積タウンです。では、いよいよ駅を出ます。びっくりです。先進的なランドマークタワーからは想像もできないような緑の空間、遠方の山の借景とのバランスはまるで森に来たみたい。緑溢れる大きな公園には、小川が流れ、たくさんの人がくつろいでいます。太極拳やバトミントンをする人、芝生で寝そべったり、そして、山梨県中の農産物のマルシェが軒を連ねています。ここだけでも一日楽しめそうです。公園を抜けると山梨県中の観光地にいけるバスターミナルがあります。バスコンシェルジェが丁寧に案内してくれて、八ヶ岳行きのバスに乗ります。なんと運転手さんがいません。これが噂の全国初の無人運転バス、更に驚いたのは、車椅子の人、盲導犬と一緒に、自転車を積んだり、大きな登山バックをもった人と様々です。それぞれが生活を楽しんでいる感じです。バスからの眺めも綺麗ですが、目立つのは、至るところでの改修工事です。歩行者や自転車が安心して通れ、景観の良い道路に変更をしています。また、たくさんの健康産業の研究拠点や工場の進出ラッシュのようです。まるで、一時期の中国のようです。次に目につくのは、平日に関わらず小学生が畑や牧場にいっぱいです。山梨では、まず自分たちの資源を子供の頃から理解できるように自然教育が盛んだそうです。東京からも偏差値教育に疑問をもつ教育移住が多いそうです。・・・

いかがでしょうか？

無限のイメージネーションが広がることでしょう。

「やまなしランド」実現に向けた基本政策

政策理念

① 県民主役の県政

県政の中点を官から民へ、陳情型から県民参加型へ方向転換する。県政が霞ヶ関崇拜型かつ官主導型で県庁内部の思考が停滞、凝り固まり、一方では各種の利益団体・圧力団体が横行、政策が左右され、見返りに選挙時の集票という悪しき連鎖、県民の想いが汲み上げられない県政を一掃。新たな県政推進エンジンに女性を位置づけ、官主導県政の転換、陳情型県政の排除、中央依存型県政の脱却、そして女性政策立案型県政を実現する。

② 県政の透明化

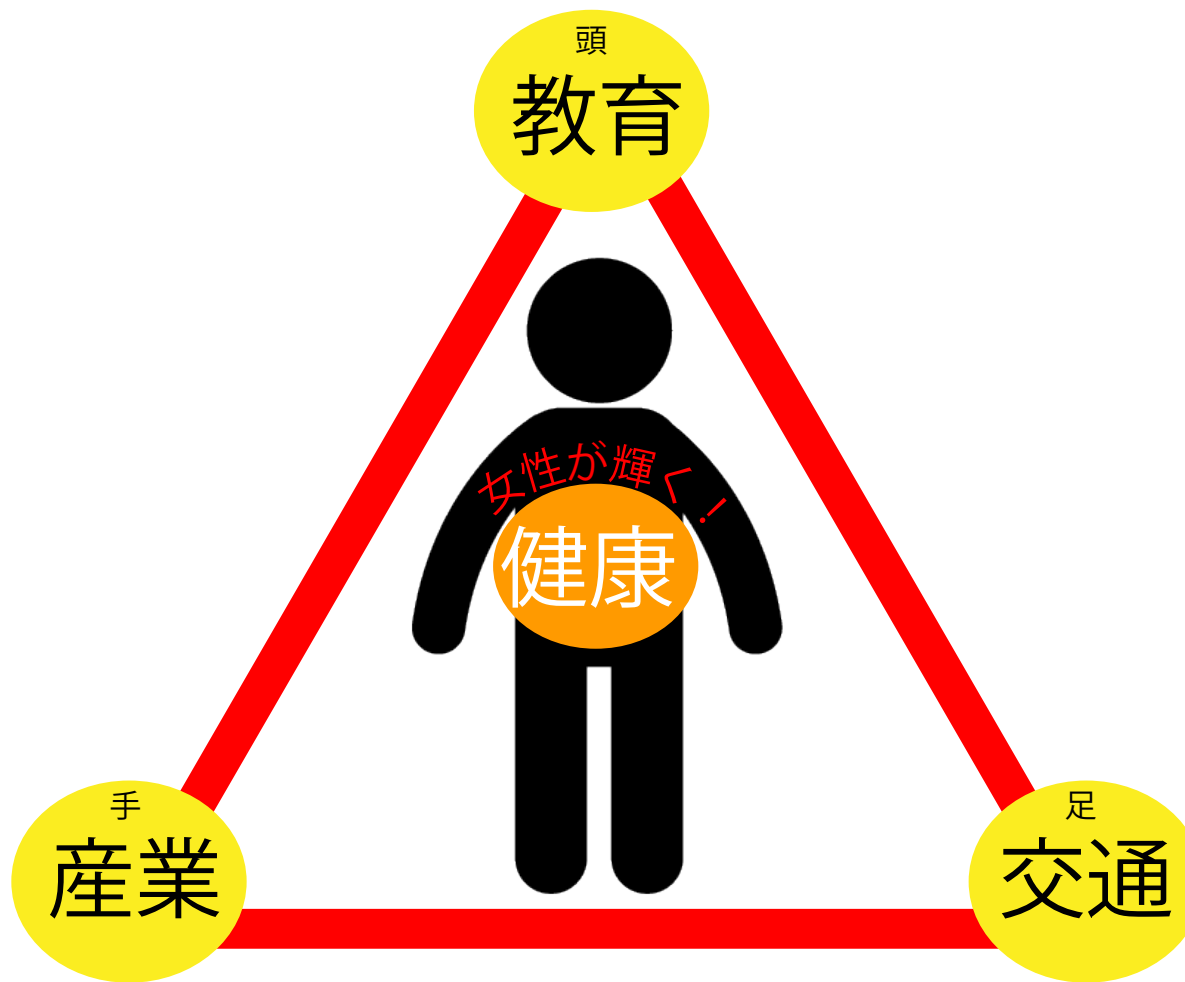
目指すべき県像を明確化。どこにお金を使うのか？今後どういう計画があるか？とにかく情報公開。ウェブを活用し情報の見える化をはかる。「わかりづらい」イコール特定の人だけが恩恵を受ける。「わかりやすい」すなわち全ての人にチャンスがある。あとは市町村、民間、県民、さらには外資との相乗効果が出るような仕組みを構築する。ひいては次世代にとっても、自らの夢とリンクする事が可能になる。

③ 選択と集中

総花的な政策では、県民にもわかりづらく、政治離れを招く。世界の中の山梨を作るには、特徴を明確化し、日本の中で唯一無二の存在になる必要がある。その為には限られた予算、時間を集中的に投下し、山梨県の方向性を県民、観光客、移住者、誘致企業等々関係者に明確にする必要がある。また政策と称した知事、関係団体、政党のエゴを押し付けるのではなく、県民の英知を汲み上げられる仕組みづくりが重要である。

政策の骨格

- 県民、特に女性が輝き、活躍できるしくみを作る。
- 全ての政策の根幹として「健康」をテーマとする。
- 3つ（産業・交通・教育）の基本政策に集中する。



「やまなしランド」実現のためには、 全ての政策を「健康」につなげる。

産業

●産業の観光化を促進すると共に、山梨ファンを増やす重要な広報活動と位置付け観光を主幹産業に育成する。

■健康ツーリズムを観光の柱とする。

・やまなしランドのテーマである健康を、観光化する。例えば、森林セラピーをはじめとする温泉・食事・メンタル・アロマ・アニマル・スポーツセラピー等と人間ドックを組み合わせ、検診やリハビリなどの需要を国内外から取り込む。健康包括センターを観光のメイン拠点として活用していく。「山梨に滞在すると健康になる」そのためには、それぞれを商品化できるように包括的なサポート体制を構築していく。

■資源の高付加価値化並びに、ツアーづくりを県主導にて行い、市町村と連携を図る。

・例えば、甲斐108霊場巡礼と各地観光資源を組み合わせし、提案型の観光パッケージを県主導で行う。また、市町村単位でも資源のブランド化並びにパッケージ化を推進する仕組みづくりを行う。山梨の資源である景観、果物、温泉、産業等の再発掘とパッケージ化を推進する。例えば、ワンダーフォーゲル、トレッキング、ロードバイク等首都圏からの人気上昇しているが、県としてもその整備をサポートできる体制を構築する。インスタグラムなどのSNSも積極的に活用する。

●医療・健康産業を新しい産業の柱に育て、健康長寿日本一に寄与する。

■農業×健康、地場産業×健康、温泉×健康、自然×健康、精密機械×健康等、資源を健康とコラボレーションする事により、山梨発の健康産業を創出するしくみ作り。

・スタートアップ支援を実施します。また、試作品補助制度を開始、発想試作センターを設置します。

■企業×医療機関、企業×大学、企業×研究機関等のコラボレーションにより、産業の質向上をサポートする。

交通

●公共交通日本一の県を目指す。
自家用車依存の交通から脱却し、高齢者、子供、車椅子等交通弱者に優しい交通網を構築する。

■日本で最初に自動運転のバス（甲府駅北口～武田神社）を実用化します。

■主要幹線の路線を拡大・整備し、15分に1本、終バスも23時すぎまでにします。

・免許証を返上した高齢者、学童、電車で来る観光客の足を確保します。

・飲酒運転、高齢者運転による事故を軽減します。

・バス通勤を推進し、甲府中心の繁華街を活性化します。

■中央線、朝6時前後の「通勤快速」の新設をJRと交渉します。

■自転車や車椅子、荷物等を自由に運べる山梨型多機能バスの開発を支援すると共に歩行者、自転車が安心かつ楽しめる道作りにも着手し、県民の健康をサポートします。

●農業分野でも自動運転運搬車の研究を進め、女性や高齢者に優しい農業イノベーションを生み出します。

■農業の担い手不足は深刻な課題です。自動運転農機具導入の推進をはじめ、重たいものを運ぶなどの重労働の改善を目指し、生涯現役をサポートします。

教育

●情操教育に、自然教育とグローバル教育を導入し、世界的に活躍できる人材を育成する。

■基礎学力の向上、並びに自ら考え、行動できる子どもたちを育成します。

・今までの偏差値偏重、詰め込み教育から脱却し、体験から自ら学ぶ体制作り。

■山梨の自然、農業、産業に子供の頃から触れる事により、山梨の素晴らしさ、多様な産業に気づく事ができます。

■英語教育の推進はもちろん、グローバルセンスを磨く必要があります。世界の中の日本、山梨という見方と山梨県民としてのアイデンティティを創出します。

■子どもたちを、社会全体で支える山梨教育モデルを目指します。

●「健康」をテーマにした世界レベルのキャンパスビレッジを作り、国内外から複数の大学の学部を誘致します。

■人財育成こそ、企業や研究機関誘致、また新しい健康産業の創出につながります。

・新しいキャンパスビレッジを象徴とし、既存の高校、大学とも連携し「健康」に関連する人財育成に特化します。

・大学×企業、大学×研究機関、大学×ベンチャーと健康をテーマとした新しいコラボレーションモデルを徹底的に推進する。

政党? いや 政策

ビジョンのない県は不幸です